

もっと知って！鉄筋工事のこと！

「建設技術展 2010 近畿」に出展

「職人の心意気」を前面に 12月1・2日 マイドーム大阪で開催

関西鉄筋工業協同組合は昨年、専門工事業団体として初めて建設技術展に出展し、ベストブース賞を受賞するなど来場された多くの一般の来場者だけでなく行政やゼネコン、教育機関等の多くの関係者からも高い評価をいただきました。

今回も組合では、12月1日と2日にマイドームおおさか（大阪市中央区）で開催される「建設技術展 2010 近畿」に昨年に引き続き出展します。

会場では職人の高度な技術を見せる実演スペースをはじめ、鉄筋が土木構造物のどの部分に使われているのかをわかりやすく紹介したボックスカルバートの模型、高品質な鉄筋材料、鉄筋工事をサポートする加工機、優れた圧接技術、かぶりを確保するスパーサーや治具、正確な拾い出しを行う積算システムなどを展示します。

鉄筋工事は建物や土木構造物が完成すると人の目に触れることはありません。完成後には見えなくなるからこそ、その技術・技能・品質・精度に対する責任が重く、組合会員の各事業所では常に緊張感を持ち、モノづくりのプロとしての自覚と責任、そして誇りを胸に皆様から信頼される仕事に邁進しています。来場者の皆様には、こうした鉄筋工事の役割や重要性とともに、モノづくりの楽しさや魅力、さらには職人の心意気を感じ取っていただければと考えています。多くの皆様のご来場をお待ちしています。